



院内感染に関する生活者（患者）の
意識・実態調査
結果報告書

II. 調査結果要約

株式会社INTAGE

2004.11.15

- I. 調査概要
 - 1. 調査目的
 - 2. 調査設計
- II. 調査結果要約
 - 1. 全体サマリー
 - 2. エリア別サマリー
- III. 単純集計結果および分析
- IV. クロス集計結果および分析
 - 付. 調査票

- 全体の6.0%において自分自身または家族・知人に院内感染を経験した事があった。82.8%が院内感染についての具体的な報道や記事を見聞きしており一般生活者の院内感染に対する認知は浸透していることが伺える。
- 全体の約43%の人が自分自身について何らかの院内感染の不安や危険を感じた経験があった。内訳は「よくあった2.8%」「時々あった8.3%」「少しはあった32.3%」。
- 院内感染の不安を感じた経験のある人達がどのような医療機関で不安や危険を感じたかでは、最も多いのが「大学・国公立以外の一般病院22.9%」「入院施設を持たない医院・クリニック・診療所18.1%」が上位に挙げられた。

- 自分の家族が院内感染する不安や危険を感じたことがあるのは全体の41.7%と自分自身についての経験とほぼ匹敵。
- 家族に対する院内感染の不安を感じた医療機関のタイプは、最も多い順に「大学・国公立以外の一般病院27.6%」「国公立病院(大学病院を除く)16.8%」「大学病院16.5%」が上位に挙げられた。

- 認知度・不安の経験度・期待度などすべての点で男性に比べ女性の方が院内感染について関与度が高い。男女共に20代・30代は関与度が低い傾向がある。特に院内感染の認知状況では他の年代に比べ格段に低い。
- 現在の我が国の医療機関における院内感染への取り組みについての一般生活者の評価は全体の37%が肯定的評価をしている。男性より女性の方が辛口である。また院内感染に関する関与度が低い層で取り組みについて高評価、院内感染に関する関与度が高い層では低評価傾向。

- 院内感染についての認知が高い人ほど実際に院内感染の不安を多く経験している。意識の高さが院内感染への敏感さへ。この傾向は自分自身の不安よりも家族についての不安の方で差が顕著に出ている。つまり院内感染に関する認識程度の差は自分自身についてもさることながら、家族の院内感染についての不安に、より影響を与えている。
- また院内感染の不安を感じた経験頻度が高い層ほど院内感染の不安を感じた程度が強く、また医療機関の院内感染防止の取り組みへの期待度も高い。

- 院内感染の不安を高頻度で経験した割合の多い(「よくあった」+「時々あった」)医療機関タイプ
 - 自分自身が院内感染の不安を経験した医療機関タイプ
 - 「国公立病院」、「歯科」、「大学/国公立病院以外の一般病院」の順。
 - 家族についての不安を経験した医療機関タイプ
 - 「入院施設を持たない小規模の医院/クリニック/診療所」、「大学/国公立病院以外の一般病院」、「国公立病院」、「入院施設を持つ小規模な医院/クリニック/診療所」の順。

- 一般生活者が院内感染の不安や危険を感じた度合いが強い項目（平均スコア分析）
 - 「患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用しているか」
1.0
 - 「ピンセットやメスなどの一般的な医療用具が適切に洗浄・消毒されているか」0.9
 - 「診察台や入院ベッドのシーツ・枕・マットレスの衛生状態が適切か」0.9
 - 「診察の際に医師や看護師が手をよく洗っているか」0.6
 - 「待合室を含め院内の空気が清浄化されているか」0.5

- 一般生活者が医療機関の院内感染防止のための取り組みについて期待度が高い項目
 - 「内視鏡等再使用される特殊な医療器具を洗浄・消毒する」1.8
 - 「ピンセットやメスなどの一般的な医療用具を適切に洗浄・消毒する」1.8
 - 「患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用する」1.6
 - 「診察台や入院ベッドのシーツ・枕・マットレスの衛生状態を適切に保つ」1.6

- 一般生活者が医療機関が院内感染防止に積極的に取り組んでいるかどうかを判断する際に重視する事項
 - 「ピンセットやメスなどの一般的な医療用具を適切に洗浄・消毒する55.3%」
 - 「内視鏡等再使用される特殊な医療器具を洗浄・消毒する41.7%」
 - 「待合室内を含め、院内の空気を清浄化する40.3%」
 - 「患者毎に使い捨てタイプの医療用具を使用する40.1%」

- 院内感染の認知
 - 北海道・北陸・東海で認知が低い
- 自分自身の院内感染の不安の経験頻度
 - 関東・北陸・京阪神・中国で経験の頻度が高い
- 自分自身の院内感染の不安を感じた医療機関タイプ
 - エリアによってばらつき

エリア別サマリー2

- 院内感染の項目別気になった程度
 - 関東・中国・九州などで経験の度合いが強い傾向
- 院内感染防止の取り組みへの項目別期待度
 - 大まかに見ると院内感染取り組みへの期待度は東高西低の傾向。(ただし九州は高い)
 - 特に北海道・関東・東海は多くの項目について高い。
 - 逆に東北・四国はほとんどの項目で低い。
- 日本の医療機関における院内感染防止対策についての意見
 - 北海道・東北・中国・四国などで取り組みについて肯定的評価が多い。